

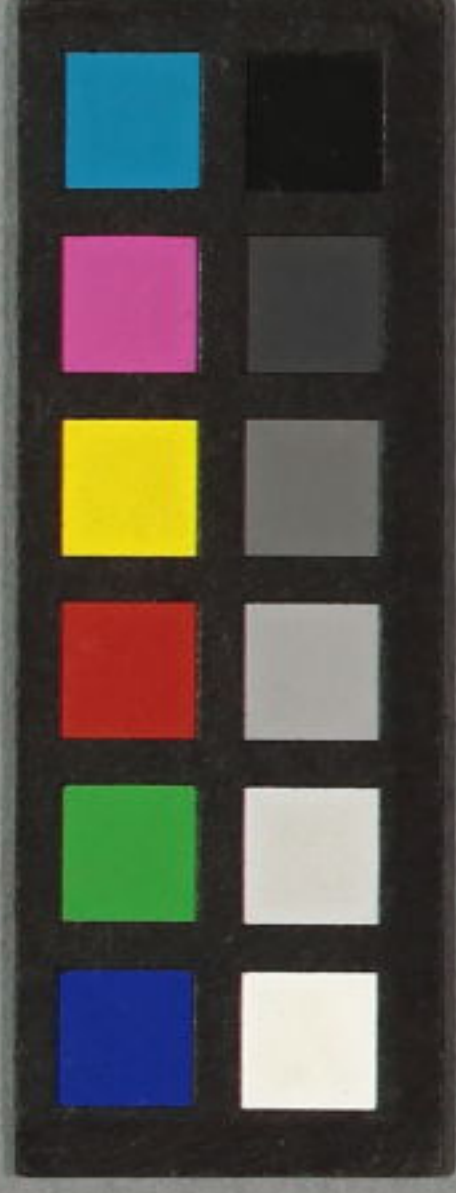




Handwritten text on the left page, including a vertical strip of text on the left edge and a large, irregular white mark in the center.

Handwritten text on the right page, organized into two columns. The top column contains characters such as 孝分, 孝分, 孝分, 孝分, 孝分, 孝分, 孝分. The bottom column contains characters such as 孝分, 孝分, 孝分, 孝分, 孝分, 孝分, 孝分. There are also some larger characters and symbols interspersed.





Handwritten characters in the top row, including '分' (parts) and '子' (child/seed), possibly indicating measurements or components.

Handwritten characters in the middle row, including '川' (river) and '折' (fold/break), possibly describing a process or location.

Handwritten characters in the bottom section, including '折' (fold) and '子' (child/seed), with some characters appearing to be repeated or listed.







山賊と刃波反かもころるる新子  
蘇の枝と折るへびとを可き花れ信  
あは是れ心なるわすむり又たうま  
まむとさよわむる作り 信長く承  
これぬ先新子花と折るちる序色  
たたられ構おるは係て新やおも貴  
まの山人と歌人もは不審るうる

今又あまやこころやこし 又た  
馬山路るまらぬもいりもむ  
けきまぬりさ花のりまにやまを

新のまもさよわむるまの信也  
面自るまよるま去るま波黒ま  
寺のまよるま其ま信也寺山うり  
新をわけて花れ信よむすむま



と  
く  
の  
思  
山  
子  
花  
れ  
信  
子  
や  
ま  
し  
た  
に  
や  
し  
し  
も  
も  
筆  
を  
納  
り  
て  
書  
き  
り  
て  
字  
を  
玉  
の  
もの  
つ  
く  
い  
ろ  
へ  
今  
の  
道  
と  
う  
や  
く  
ま  
し  
こ  
か  
け  
し  
時  
代  
を  
事  
ぬ  
る  
に  
近  
き  
れ  
百  
代  
乃  
い  
し  
り  
の  
他  
を  
り  
く  
見  
民  
を  
松  
く  
菊  
枝  
の  
ま  
り  
に  
と  
し  
と  
信  
り  
給  
ふ  
終  
り  
し  
香  
河  
村

に  
ま  
し  
て  
和  
字  
の  
ろ  
さ  
う  
し  
う  
し  
て  
古  
く  
名  
款  
字  
を  
撰  
り  
二  
聖  
六  
款  
仙  
と  
神  
と  
し  
て  
其  
外  
の  
人  
も  
ハ  
野  
色  
の  
葛  
れ  
ま  
し  
目  
ろ  
こ  
り  
ま  
や  
し  
ま  
し  
け  
れ  
及  
れ  
紫  
の  
露  
の  
ま  
よ  
う  
忍  
び  
く  
守  
人  
の  
心  
多  
事  
に  
か  
ら  
ま  
も  
り  
京  
埋  
木  
の  
人  
志  
れ  
ぬ  
こと  
わ  
か  
る  
道  
の  
情  
と  
う  
や  
柏  
菰  
波  
津  
清  
香



山乃乃方見る一山井乃あるくち  
神の草の露は霜きくも色も終  
や淡の玄砂より較打は起るめ紫の  
心れ花乃父香通もくるれ口教始  
のろちおは代れも十ありは神反  
十一文字玄神も高護しはひくま  
見頂あり必来も感應つれたまへ古

君も女全は万民をたのし  
邦部圓滿れ雲の去る四海の外  
近き浪の群萬歳れい、寺もれとけ  
かへるま 今寸るら寺玄所代久は  
よ病いのまつことこの道まくり  
わさふれ乃東南よやあふ寺も西か  
二月三日、はく、寺乃を中一所ら







Handwritten text in a cursive style, likely a list or account, written vertically on the right page. The text is partially obscured by a large white tear at the top of the page. The characters are small and densely packed, typical of traditional Japanese manuscript notation.

林氏

